

第15回北海道胃瘻研究会

日時：平成29年11月18日(土) 13:00~17:25 (12:00受付開始)
場所：札幌コンベンションセンター 特別会議場
参加費：医師 3,000円 医師以外 1,000円



開会の辞 13:00~13:05 北海道胃瘻研究会 代表世話人 倉 敏郎(町立長沼病院)

一般演題

セッション1 胃瘻造設 13:05~13:30 座長 札幌医科大学 信岡 隆幸
消化器・総合、乳腺・内分泌外科

1. 吸収系T-ファスナー型胃壁腹壁固定具の固定期間と金属バーの壁内残留の検討 時計台記念病院 長岡 康裕
2. 抜糸の要らない胃壁固定法によるPEG造設の試み 札幌道都病院 西森 英史
3. 解剖学的理由によるPEG困難例に対する腹腔鏡アシスト下PEG造設の経験 札幌医科大学 金澤あゆみ

セッション2 嚥下・経口回復 13:30~13:55 座長 中村記念病院 小西 正訓

4. 嚥下造影検査と胃瘻造設早期の栄養形態の関係 洞爺温泉病院 上田 修
5. 嚥下造影検査評価表を改善し、摂食嚥下機能の全体把握を目指す試み 札幌しらかば台病院 橋本 早織
6. 気管切開で回復期リハビリテーション病棟に入棟した症例の予後 札幌溪仁会リハビリテーション病院 小川 太郎

セッション3 緩和・予後 13:55~14:20 座長 東札幌病院 日下部 俊朗

7. 減圧目的の経皮内視鏡的胃瘻造設術(減圧PEG)によりQOL向上を認めた一例~栄養士の視点から~ 東札幌病院 阿部久美子
8. 進行胃がん患者にNSTが介入し胃瘻造設に至った1例 札幌禎心会病院 丸山 沙織
9. 胃瘻栄養と中心静脈栄養の傾向スコアマッチングを用いた比較検討 宮の森記念病院 真崎 茂法

企業プレゼンテーション1 14:20~14:25 出展企業による製品説明を行います
休憩 14:25~14:45 休憩中に企業展示をご覧ください

セッション4 NST・栄養投与法 14:45~15:20 座長 中島病院 星 智和

10. PHGG高含有流動食使用による排便状況、栄養状態の変化 時計台記念病院 鎌田しおり
11. ペクチン含有消化態濃厚流動食の隔日ボラス注入で排便パターン改善につながった一例 清水赤十字病院 三谷 萌子
12. 経口摂取困難期間が長期となり経管栄養となった場合の初期投与方法について 栗山赤十字病院 真井 睦子
13. 経鼻経管栄養からの経口栄養移行における当院の取り組み 愛全病院 小野 正博

セッション5 PEG-J 15:20~15:55 座長 札幌禎心会病院 中村 誠志

14. PEG-Jチューブを用いて、デュオドーパ®の導入を行ったパーキンソン病2症例の経験 国立病院機構北海道医療センター 武藤 修一
15. パーキンソン病に対する経胃瘻的空腸(PEG-J)チューブを用いたDuodopa®の持続投与 国立病院機構旭川医療センター 横浜 吏郎
16. 当院におけるPEGJ症例の検討 帯広厚生病院 柳澤 秀之
17. 一次的経胃瘻空腸チューブ(PEG-J)造設の検討 函館五稜郭病院 目黒 英二

企業プレゼンテーション2 15:55~16:00 出展企業による製品説明を行います
休憩 16:00~16:20 休憩中に企業展示をご覧ください

共催セミナー 16:20~17:20 司会 長岡 康裕(時計台記念病院)

「半固形剤・半固形流動食 この15年のあゆみ」

ふきあげ内科・胃腸科クリニック 院長 蟹江 治郎 先生

(共催:株式会社 大塚製薬工場、EN大塚製薬株式会社)

閉会の辞 17:20~17:25 第15回北海道胃瘻研究会会長 長岡 康裕(時計台記念病院)

主催:北海道胃瘻研究会

後援:北海道医師会、札幌医師会、北海道看護協会、北海道栄養士会、北海道在宅ケア事業団、北海道消化器内視鏡技師会

*本講演会は北海道医師会の承認を得て、北海道医師会認定生涯教育講座(3単位)として開催致します。

カリキュラムコード: 49.嚥下困難 73.慢性疾患・複合疾患の管理 80.在宅医療

生涯教育制度の単位取得には、氏名以外に「国籍登録番号」が必要です。受付時に忘れずにご記入願います。

*本講演会は日本静脈経腸栄養学会認定資格 栄養サポートチーム専門療法士認定講座(2単位)として開催致します。